

2号機再稼働反対 4.7万人署名簿提出

知事宛てに市民団体

原発に依存しない地域づくりを目指す市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」（北川泉代表世話人）は13日、島根原発2号機の再稼働に反対する4万7676人分の署名簿を、島根県の溝口善兵衛知事宛てに提出した。

同連絡会の保母武彦事務局長ら6人が松江市殿町の

県庁を訪れ、防災部の奈良省吾次長に手渡した。

署名活動は2016年9月から17年10月まで、岡山県を除く中国地方を中心に実施。内訳は、島根3万2491人▽山口1万7人▽鳥取1207人▽広島1169人▽岡山1014人

など。

保母氏らは、島根原発が仮に新規規制基準適合性審査で合格したとしても、絶対的な安全は確保できない上、30^{キロ}圏内の避難対象者約47万人の移動手段や受け入れ先が未整備であるなどと指摘。一課題が解決され

ない限り、今を生きる私たち子どもたち、未来のために再稼働を認めない」と訴えた。

署名簿は近く、松江市の松浦正敬市長にも提出する。
(多賀芳文)

2018.2.14 朝日

原発再稼働反対 署名4万7676筆

市民団体が知事に提出

市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」（事務局長・保母武彦島根大名誉教授）は13日、島根原発の再稼働に反対する署名4万7676筆を溝口善兵衛知事に提出し、再稼働に同意しないよう要請した。近く松江市の松浦正敬市長にも提出する予定という。

要請書では、新規規制基準を満たしても絶対的な安全性が確保できるわけではない▽自治体の避難計画に課題がある▽使用済み核燃料の最終処分が決まっていないなど核燃料サイクルの先行きが不透明——の3点を挙げ、「原発事故を繰り返さないために、島根原発の

再稼働を認めないよう」求めている。

連絡会によると、署名は2016年9月～17年10月にイベントや集会などで集めた。県内の約3万2500筆を中心に、中国の他4県などからも集まったという。連絡会が再稼働に反対する趣旨の署名を提出するのは初めて。

連絡会は東日本大震災から7年となる3月11日、「原発・エネルギー問題を考えるシンポジウム」を松江市鹿島町佐陀本郷の鹿島文化ホールで開く。午後2～4時。環境・エネルギー政策などを研究する島根大法文学部の上園昌武教授が講演する。無料。

(富岡万葉)